

「小学校の教科教育モデルコアカリキュラムの策定」

調査の概要

◆課題認識

- 下記の課題に取り組む必要性がある。
- ・今後の教員養成の方向性への対応
  - ・小学校版「静大SPeC」の開発
  - ・小学校の教科指導に必要な資質・能力の調査研究
  - ・教育委員会・附属学校園との協働に基づく小学校教員教職課程の教科関連科目の提案

◆調査研究の目的

- ・小学校教科教育モデルコアカリキュラム及びコア科目のシラバスの策定

◆調査研究の方法

- ・下記の取組1～取組4による小学校版「静大SPeC」、学びの系統図、コアカリキュラム、シラバスの作成

◆調査研究協力者

- ・総合教育センター各教科指導主事
- ・附属学校園教員等
- ・広島大学 ・常葉大学 ・浜松学院大学

◆現状

- ・総合教育センター各教科指導主事、附属学校園教員等とも、教員養成の改善への関心は高い。
- ・各大学に特色ある教員養成の取り組みがある。

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①取組1 アンケートWG

- ・教員に求められる資質・能力を小学校の教科指導に必要な資質・能力の把握へ
- ・学部生の小学校の教科指導に必要な資質・能力の現状の解明へ

②取組2 他大学調査WG

- ・多面的・多角的な検討・情報交換に基づく教員養成の取り組みへ
- ・オール静岡によるコアカリキュラムの作成へ

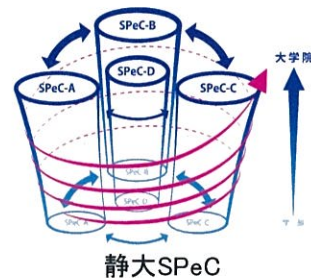
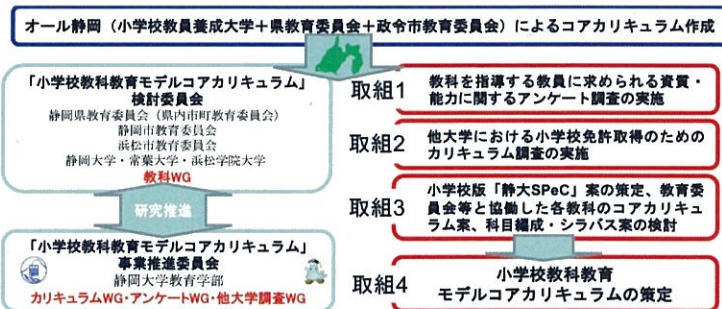
③取組3 コアカリキュラムWG・教科WG

- ・中等教育版だった「静大SPeC」を小学校・中等教育版へ
- ・小学校の教科指導に必要な資質・能力→カリキュラム構成の指標→シラバスへ

④取組4 小学校教科教育モデルコアカリキュラムの策定

◆成果

- ・小学校版「静大SPeC」、学びの系統図、コアカリキュラム、シラバスを作成した。
- ・教育委員会・附属学校園・県内大学との協働に基づき、小学校の教科指導に必要な資質・能力の育成の方策を議論した。
- ・上記の作成した成果物に一定の評価を得た。



今後の課題

◆「小学校の教科指導に必要な資質・能力の向上」の支援

- ・教育委員会・附属学校園・県内大学との協働に基づく小学校教員教職課程の教科関連科目の検討の継続化
- ・小学校教科教育モデルコアカリキュラムに基づくシラバスの授業の組織化と教科書の作成
- ・学びの系統図の精緻化